

行動シート

行動主体名	企画政策課
課・室・施設長名	中川 清
組織の使命	<ol style="list-style-type: none"> 1 政策立案過程における市民意見の反映 (総合計画, 甌島振興計画, 男女共同参画基本計画等) 2 男女共同参画社会の啓発(関連事業の充実) 3 国際交流事業の充実 4 統計調査の実施と調査結果の活用
現状認識及び中期 (向こう3年内)展 望	<ol style="list-style-type: none"> 1 パブリックコメントの導入, ワークショップの開催 2 女性50人委員会の活用 3 国際交流協会の設立と会員増強, 実施事業の充実 4 本庁, 支所の連携
事務改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際交流協会事業・まちづくり公社事業 国際交流協会事業への一本化 2 国際交流センター: 指定管理者制度の導入, 外国人研修生宿泊施設: 一部委託 全部委託(貸付)化 3 広域団体予算の事業予算化及び執行処理の改善 4 統計調査に係る本庁・支所業務分担の見直し
待遇改善に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 週一回の朝礼(月曜日), 週一回の終礼(金曜日)での周知徹底 2 定例係内協議・課内協議での待遇改善検討
経費節減に関する 行動計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 繁忙期に係る職員の応援体制(係内融通等) 2 事務管理費の執行見直し

行動シート

行動主体名	行政改革推進課
課・室・施設長名	今吉 俊郎
組織の使命	<p>市町村合併に伴って市民に納得いただける市民サービスを提供できるように、薩摩川内市の行政組織，事務分掌，職員定数等の適正化を目指す。</p> <p>庁内各部・局，支所を含む各課に，市政改革を主体的に推進していただくとともに，合併前に協議した調整方針に基づき，各種事務事業の推進を働きかける。</p>
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<p>薩摩川内市市政改革大綱の「都市経営」，「サービス向上」，「協働」の3つの挑戦を基本として，31項目の改革アクションプランを計画的かつ総合的に実行することにより，組織や職員のあり方をはじめとする市民志向の行政改革を早期に実現する。</p> <p>市民に「合併してよかった」と感じてもらえる市政改革を目指す。</p>
事務改善に関する行動計画	<p>毎朝8：29からの1分ミーティングの実施</p> <p>課内コミュニケーションの徹底</p> <p>スケジュール設定による計画的業務の遂行</p> <p>各職員の業務量バランスの随時調整</p> <p>パソコンネットワークによる文書共有</p>
接遇改善に関する行動計画	<p>来庁者への積極的な声かけ，あいさつ</p> <p>親切丁寧な電話対応の励行</p> <p>提出等の締切の厳守</p> <p>P T A や地域活動への積極的参画</p>
経費節減に関する行動計画	<p>納税者である市民を意識して，ボールペン1本から紙1枚まで徹底した節約意識</p> <p>会議や打合せ等の工夫（効率的開催）による「時間」の節約</p> <p>昼休み消灯</p>

行動シート

行動主体名	コミュニティ課
課・室・施設長名	五反田 省一
組織の使命	住民が互いに助け合い協力し合う明るい地域づくりのために、自治会や地区コミュニティ協議会の育成支援を図るとともに、市民の声を市政に反映させるための広聴機能の充実と読みやすい広報紙の作成等による広報活動を図る。
現状認識及び中期 (向こう3年内)展望	48地区のコミュニティ協議会の設立等によりコミュニティ活動の連携強化と市民の声を吸い上げる広聴活動が重要になってくるため、自治活動への支援と広聴広報体制の充実を図る必要がある。
事務改善に関する 行動計画	自治会長や地区コミュニティ協議会長等の市民が来庁し、多岐にわたる市役所への用務等がある場合、用務に合わせて市民が市役所内を回るのではなく、出来るだけ他課の職員がコミュニティ課に来て用務が済むように、用務内容を聞き処理が出来るよう関係課と連携を図るようにしたい。
接遇改善に関する 行動計画	市民の来庁や市民からの電話等が多い課所のため、あいさつと明るい大きな声での対応を図ることとしたい。
経費節減に関する 行動計画	コミュニティ課と地区コミュニティセンター間の文書や質問等については、極力メールを活用することとし、管理経費の節減に努めたい。

行動シート

行動主体名	情報政策課
課・室・施設長名	村尾 光政
組織の使命	<p>住民サービスの向上に寄与するシステム開発及び情報格差がなく均一な情報提供基盤の整備が求められている。</p> <p>情報資産の有効活用と適正管理が求められている。</p> <p>情報資産：情報及び情報を管理する仕組み（情報システム並びにシステム開発，運用及び保守のための資料等）の総称</p>
現状認識及び中期（向こう3年内）展望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成16年度のふれあい情報ネットワーク整備事業で整備した，機器及び情報提供システムの利活用の促進を図り，地域の活性化等に寄与する。 ・ 情報セキュリティポリシーの整備（基本方針，対策基準，実施手順） ・ 地域情報化実施計画策定と電子自治体の推進 ・ システム開発，管理の効率化 ・ 甑島地域への情報インフラの整備
事務改善に関する行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットワーク管理の適正化，効率化（ネットワーク管理体制の整備，端末シンクライアント化への研究） ・ 次期システム更新に合わせた共同利用システム，ダウンサイジング，アウトソーシングの研究 ・ ホウレンソウ（報告・連絡・相談）を徹底し，問題が発生した場合に，問題の早期解決を図る。
接遇改善に関する行動計画	<p>電話を取継ぐ場合に，「フッキング」によるメロディの発信機能を用い，電話相手へ待ち時間に対する不快感を与えないように配慮する。</p>
経費節減に関する行動計画	<p>プリンター出力において，裏面利用での出力を徹底し，コピー用紙の消費を抑制する。</p>